

家庭科学習指導案

学校名 南丹市立園部中学校

指導者名 木村 やよい

- 1 単元名 「よりよい商品の選択・購入のために『自分や家族の生活に必要なものの購入シミュレーション』」

C 「消費生活・環境」(1)金銭の管理と購入

2 題材について

私たちは、高度情報化、キャッシュレス化など急速な社会の変化により、多様な方法で商品を手に入れることができるようになった。また、インターネットや SNS 等の利用により、商品選択に関わる情報を容易に入手できるようになっている。しかし、多様な購入方法や支払い方法、複雑化した商品に関する情報を理解している生徒は少ないため、必要な情報を収集・整理し、活用する力が必要になっている。本題材は、計画的な金銭管理の必要性、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理、売買契約の仕組み、購入方法や支払い方法の特徴について学習しながら、自分や家族の生活に必要なものの購入計画を立てる活動を通して、物資・サービスの選択・購入に関わる課題を見だし、購入について考え工夫させることが主なねらいである。

対象生徒（中学2年生）は4年後、成人となって自分の進路を切り拓き、自立していくことになる。「生きる力」をより具体化し、身近な消費行動を通して、その生活事象を持続可能な社会の構築等の視点で捉え、責任ある消費行動を考えさせたい。そこで、本時は「高等学校卒業後の自分自身の生活パターン」を設定し、生活に必要な『洗濯機（白物家電）』の購入計画を練っていく。複数の販売商品から2種類を選択し、比較・検討しながら、自分の生活に最適な商品を決定していく。

3 単元の目標

- (1)購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (知識・技能)
- (2)物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現することができる。 (思考・判断・表現)
- (3)よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

4 本時の目標（9／11 時間目）

これまでに学習した商品の購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買の仕組み等を振り返りながら、『洗濯機』の選択と購入に必要な情報の収集・整理を適切に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

5 本時の展開（9/11 時間目）

過程	学習活動	学習形態	指導上の留意点	評価基準 【評価の観点】〈方法〉
導入 5分	本時の目標を知る。	一斉	白物家電を説明する。	めあて：未来の自分の暮らしに合った洗濯機を購入する方法を考えよう。 ギミック：①事前に、自宅の洗濯機について家族に聞き取り調査をした。 ②生徒の思考・判断力に応じて購入例を1つから2つ考えさせ、提出方法も紙面とロイロノートのどちらかを選択させる。
展開 10分	18歳の未来の自分の生活パターンを考え、決める。 - 商品の購入方法について、復習する。	個別ペア 一斉	- 具体的な暮らしをイメージさせていく。 - 自分が普段していることを振り返らせる。	◇◆学習した商品の購入・支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買の仕組み等を振り返りながら、『洗濯機』の選択と購入に必要な情報の収集・整理を適切に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】〈活動観察〉〈ワークシートA〉
30分	洗濯機の購入方法を2つ選択し、必要な情報をまとめよう。	一斉 個人	- タブレットや広告等を使わせる。得た情報は、①②のどちらかで提出するように伝える。 ① レポートAに書く。 ② タブレットでまとめる。	十分満足できると判断される状況 ○自分の取り組み内容を振り返って評価するとともに、自分の生活に関連づけて今後の実践に生かせることに気づき、改善を図ろうとしている。 努力を要する状況への手立て ○購入計画のプロセスを振り返って、不十分な点を確認するなどして、これまでに学習した意思決定の流れと結び付けて、評価・改善できるようにする。
まとめ 5分	- 調査内容をまとめて、提出する。 - 次時はグループで交流し合って購入方法を1つに決めていくことを知る。	一斉	- 検討したことを①②で提出させる。 - 自宅で、家族に尋ねて、参考にしてもよいことを伝える。	

6 本時の目標（10／11 時間目）

生活に必要な『洗濯機』の選択・購入に関して考察したことを論理的に表現するなどして、購入計画を評価したり、改善したりできる。【思考・判断・表現】

7 本時の展開（10/11 時間目）

過程	学習活動	学習形態	指導上の留意点	評価基準 【評価の観点】〈方法〉
導入 5分	・本時の目標を知る。 ・講師の先生を紹介する。	一斉	・ワークシート A とタブレットを用意させる。	
	めあて：未来の自分の暮らしに合った洗濯機を購入する方法を考えよう。			
展開 30分	・レポート B をもとに、選んだ 2 つの方法について考察していく。 A) 安全性、価格、アフターサービス、環境への配慮、支払い方法、配達方法等 B) 8 つの方法のメリット・デメリット。 ・各班で出た意見を交流していく。 ・代表が交流内容を報告する。	個別内化	・前時に選んだ購入方法を確認する。 ・ワークシートに沿って進めていく。 ・生活班の 1 ～ 3 名がレポートを使って報告する。（メモ欄） ・気付いたことをワークシートにまとめさせる。	◇◆自分の生活に必要な『洗濯機』の選択・購入に関する活動について、考察したことを論理的に発表している。さらに、購入計画を評価したり、改善したりできる 【思考・判断・表現】〈行動観察〉〈ワークシート B〉 十分満足できると判断される状況
8分	・講師の先生から、購入方法や購入ポイント（安全性、価格、アフターサービス、環境への配慮、支払い方法、配達方法等）について、アドバイスを受ける。 ・購入方法を決定する。 2 時間の学習をふり返って、気付いたことをワークシートにまとめる。	グループ外化 一斉内化	・質問等、適宜確認していく。 ・消費者の権利と責任の学習をふり返る。 ・前時からの学習をじっくりとふり返らせる。	○取り組み内容を振り返って評価するとともに、自分の生活に関連づけて今後に生かせることに気づき、改善を図ろうとしている。 努力を要する状況への手立て ○購入計画のプロセスを振り返って、不十分な点を確認して、学習した意思決定の流れと結び付けて、評価・改善できるようにする。
まとめ 7分	・ワークシートを提出する。 ・次時の学習内容を知る。	一斉	・ワークシートを回収し、次時の学習内容を伝える。	

レポート（話し合いのまとめ）

	メリット	デメリット
A 量販店		
B 電気屋		
C リサイクルショップ		
D ネット		

	メリット	デメリット
E フリマ		
F コインランドリー		
G クリーニング屋		
H 知り合い		